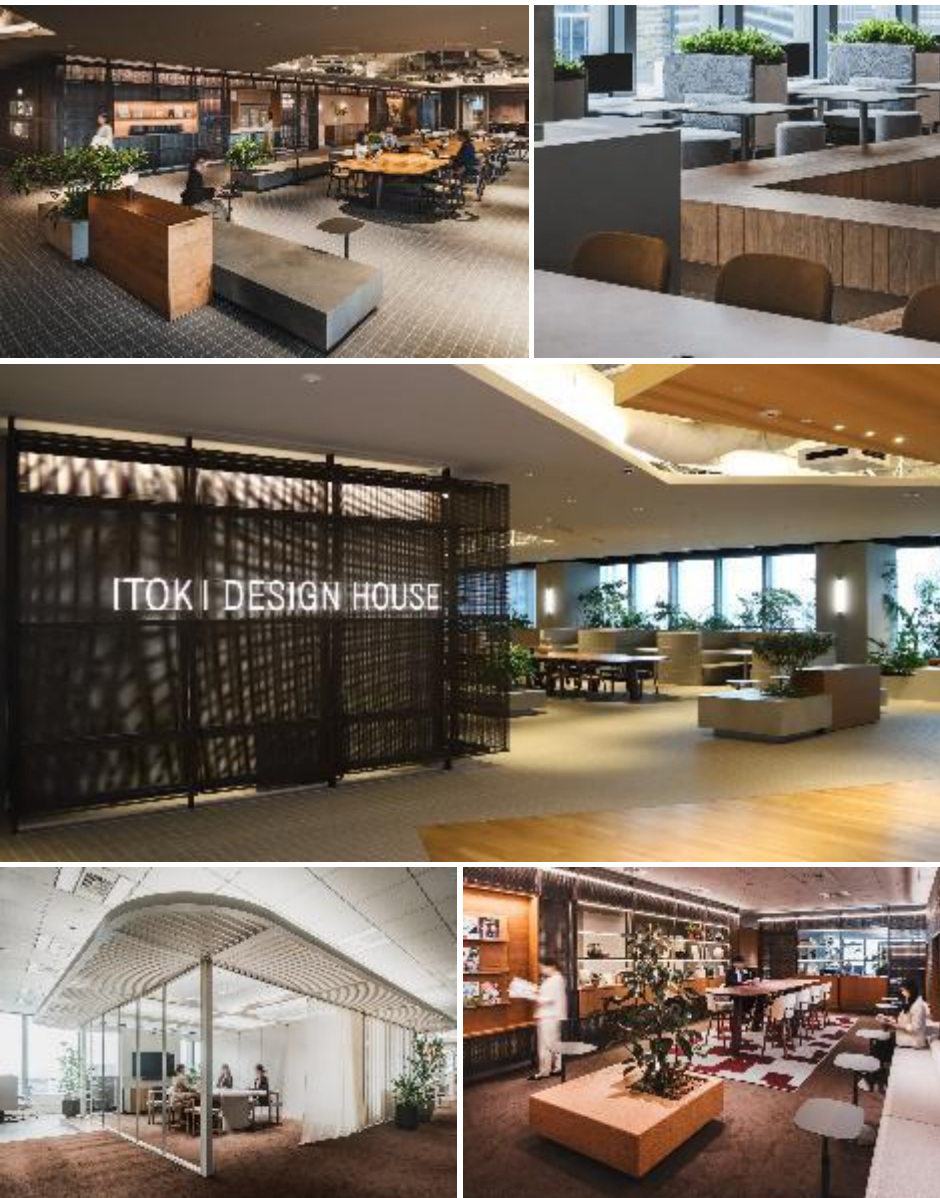




# 2025年12月期決算補足説明資料（2部）

2026年2月13日

株式会社イトーキ（東証プライム：7972）



## 目次

1. 2025年12月期 通期実績
2. 2026年12月期 業績予想
3. ワークプレイス事業
4. 設備機器・パブリック事業
5. appendix



A modern office interior featuring a long, light-colored wooden table in the foreground, a staircase with a wooden railing to the right, and various indoor plants. The ceiling has exposed wooden beams and modern lighting fixtures. The overall atmosphere is bright and airy.

## 4. 設備機器・パブリック事業

設備機器パブリック事業

## 株式会社ダルトンの取り組みについて

株式会社ダルトン  
代表取締役社長

澤 田 正

2026年 2月13日

# 01

## ダルトンの概要





# ダルトンの概要

会社名	株式会社ダルトン
英文社名	DALTON CORPORATION
本 社	東京都中央区築地5-6-10
創 業	1939年（昭和14年）
設 立	1948年（昭和23年）
資本金	100,000,000円
従業員数	単体：398人（2025年9月現在） 連結：642人（2025年9月現在）
株主	株式会社イトーキ 100%
年商	21,479百万円（2025年度9月期連結）
連結会社	5 社

2011年	イトーキの連結対象子会社化
2017年	イトーキの完全子会社化



本社



静岡テクノパーク



大阪イノベーションパーク



ショールーム



John Dalton

イギリスの化学者（1766～1844）

01

## 知的創造空間としての ラボづくり

理想のラボ実現に向けたコンセプト企画からコスト最適化までの全プロジェクトをコンサルティングし、グローバルレベルのラボを実現します。

研究施設



02

## 粉粒体加工の 生産システム構築

粉の性質を熟知したプロフェッショナルが、品質と安定性を備えたプラントを設計。プロセス全般にわたる課題に最適なソリューションを提供します。

粉体機械



03

## 安全と品質を生み出す 作業空間づくり

オペレーターと取扱物質、どちらにもやさしい作業空間の構築を、長年培った技術力で実現します。製作前のモックアップでベストな仕様を徹底的に追求し、真に求められる作業環境をお客様と共に創り出します。

クリーン機器



04

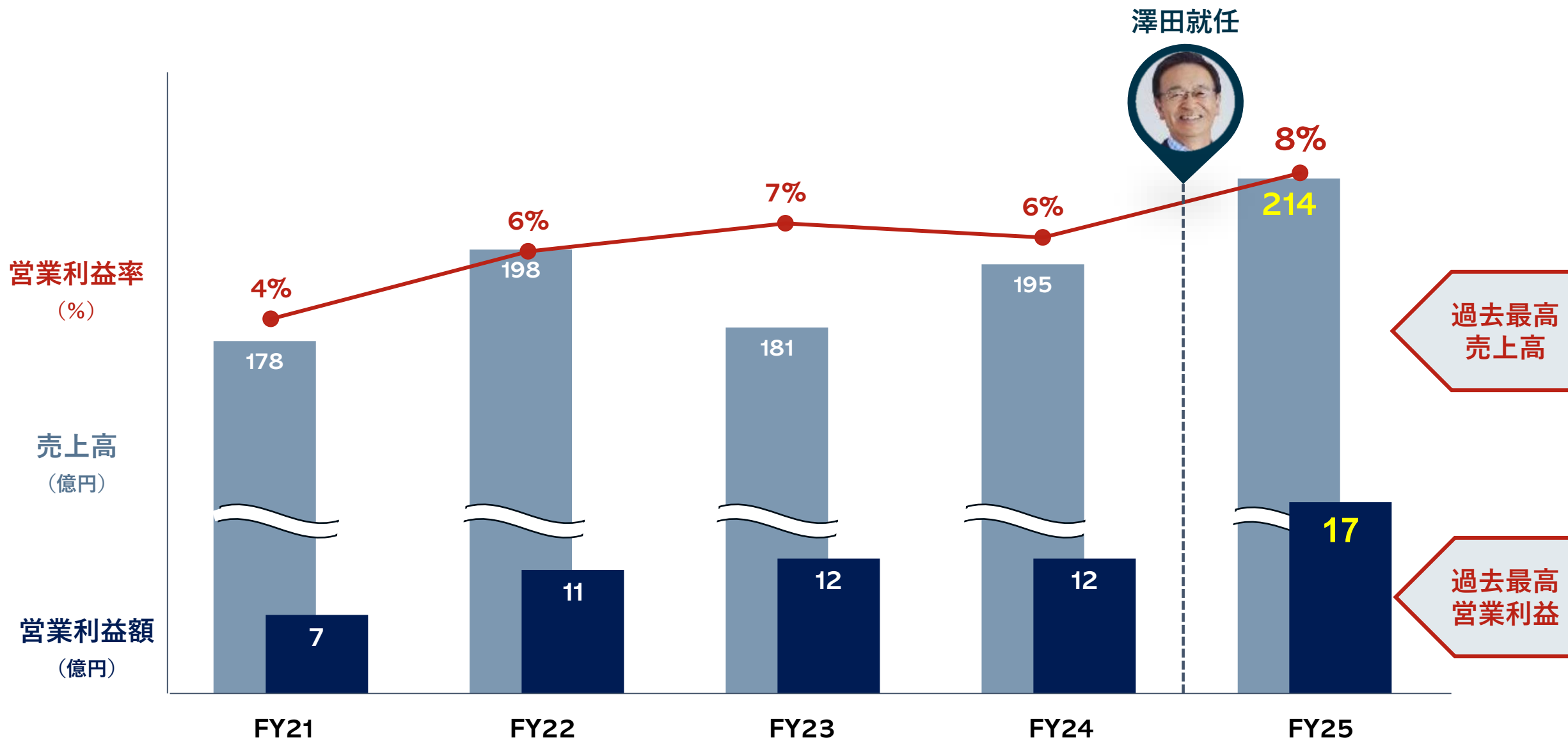
## お客様のビジネスに 最適な装置の提供

半導体製造における剥離、洗浄、乾燥、メッキ、溶剤再生など、ウエハーや治具、用途に応じて、研究開発向けの少量生産用から量産機まで、前工程分野を中心に幅広い工程に対応できる製品を提供します。

半導体装置



# ダルトングループの業績推移





# 02

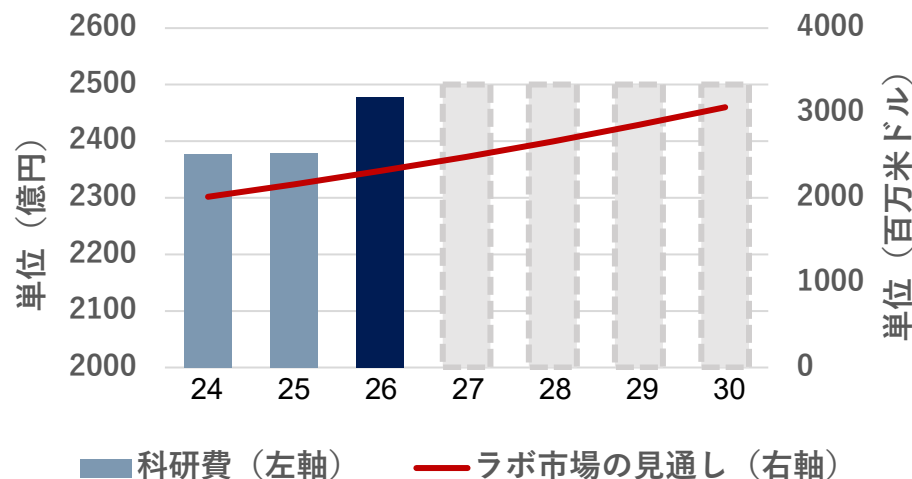
## 研究施設事業の成長戦略 ～新たなビジネスモデルへの進化～

Research Facility New Brand

# MAGBIT

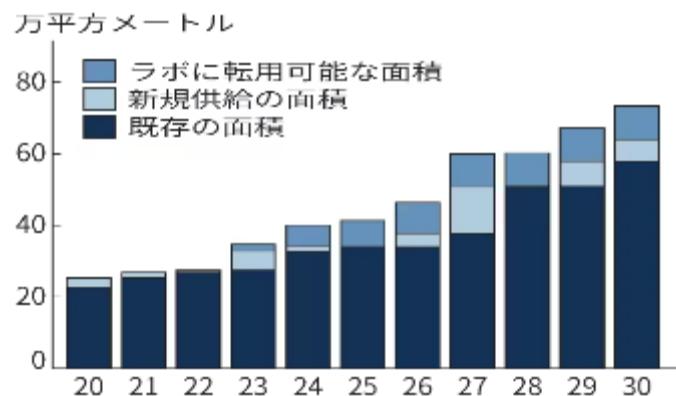
[マグビット]

## ラボ市場は拡大の見通し



(出展: Grand View Research)

## 賃貸ラボの供給は増加傾向



(出展: JLL)

(注) 25~30年は予測

## 研究人材獲得競争の激化

- ・ **優秀な研究人材の確保**が各社の重要課題
- ・ 都市部立地・オープンな研究環境へのニーズ拡大

## 研究市場を取り巻く環境

- ・ 科学研究費助成事業（科研費）：2,479億円  
（15年ぶりの**100億円超増額**）
- ・ ラボ市場は2030年頃まで年率7%超で成長

## 賃貸ラボビルの拡大

- ・ 研究人材を獲得しやすい都市部立地
- ・ 社外連携を促進するオープンな研究環境
- ・ 変化に対応しやすい柔軟な不動産戦略

## 当社への示唆

- ・ 研究施設向け設備投資は持続的に拡大
- ・ イトーキ×ダルトンの強みが最も活きる領域
- ・ 研究施設事業は中長期的な成長ドライバー

# DALTON

## ITOKIのビジネスモデルの進化

↑  
付加価値・競争優位性  
|

### LAB

~~OFFICE~~  
3.0

働き方ベースの

~~オフィス~~DXビジネス  
研究施設

データを活用した  
~~オフィス~~運用サポート  
研究施設

### LAB

~~OFFICE~~  
2.0

空間ベースの

ソリューション提供ビジネス

空間デザイン  
働き方コンサル

### LAB

~~OFFICE~~  
1.0

プロダクトベースの

商品販売ビジネス

差別化された  
新商品群



ダルトンの強み

# LAB 1.0

『ドラフトチャンバー』は  
ダルトンが命名しました

ドラフトチャンバー

**初** 国内製造・販売

国内で初めて、ユニット式ドラフトチャンバーの製造・発売を行い、当時の科学機器業界に大きな影響を与えました。「ドラフトチャンバー」という名称は、元はダルトンのネーミングです。

ドラフトチャンバー

**No.1** 国内出荷台数

ドラフトチャンバーの日本国内出荷ベースでNo.1の実績があり、安定した品質と生産システムを誇ります。また常に新しい技術を導入し続けています。

国内実績

**10,000** 社以上

北海道から沖縄まで、10,000社を超えるお客様で当社製品をご利用頂いております。

GOOD DESIGN AWARD

**BEST 100**



2019年、当社の実験台savanna+がGOOD DESIGN AWARD BEST100に選定されています。

New Launch

**新** 商品

2025年、インターフェックスジャパンにて新商品「ステリジョン」、「ユーゴ」の2機種を発表



世界 **No.1** 企業との提携

世界No.1のラボメーカーであるワルドナー社との長期にわたる技術提携を継続しており、最先端の技術導入を行っています。

# LAB 2.0

研究施設に特化した空間設計&コンサルティング チーム設立

- 大規模・先進研究所に対応できる専門的なラボ構築組織
- 「研究」と「オフィス」の境界をなくす一体的提案

従来の「実験室メーカー」から、

研究施設を最適化する『**LAB-WORK INTEGRATOR**』へ

2025年度の設計・コンサルティング受託費 **3倍** に増加

大型プロジェクト商談（10億円以上）の発掘 ⇒ **約150億円** のパイプライン創出

→ **新しいLab市場の創出へ**



# 本社オフィスの移転、東京ショールーム開設

## 目的

社員のエンゲージメント、生産性をさらに高める  
ダルトン・ブランドの発信拠点  
顧客訪問型から顧客来場型営業へのシフト

オフィスイメージ



ショールームイメージ



TOYOSU SAIL PARK

2026年秋移転予定



豊洲セイルパーク

2025年秋竣工した、豊洲再開発の「ラストピース」  
とも呼ばれる注目度の高い複合施設

約800坪（約2,600㎡）に  
約250名がひとつのフロアに入居予定



# LAB 3.0

- ・ 研究所向けの新しいDX型ソリューション商材を新ショールームに実装
- ・ 来場顧客へ体験型デモンストレーションを実施予定

## Data Trekking for Lab

オフィス内のセンシングデータ（人の位置情報や行動データ）を活用し、アジャイルなオフィス構築と運用を伴走型で支援するコンサルティングサービス

## Lab Asset Finder (仮称)

ラボ内の分析機器などの位置情報や属性情報をRFIDを利用して管理するシステム。研究所移転時の移設管理、固定資産棚卸、メンテナンス時期の管理などに活用

## Lab Control System (仮称)

ラボ環境の「視覚化・最適化」を実現するデータ統合管理プラットフォーム

## Lab Archive (仮称)

ラボの知的資産を『可視化』する、閲覧型デジタルサイネージシステム

創造の、共創へ。

LAB-WORK INTEGRATOR へ。

**DALTON**



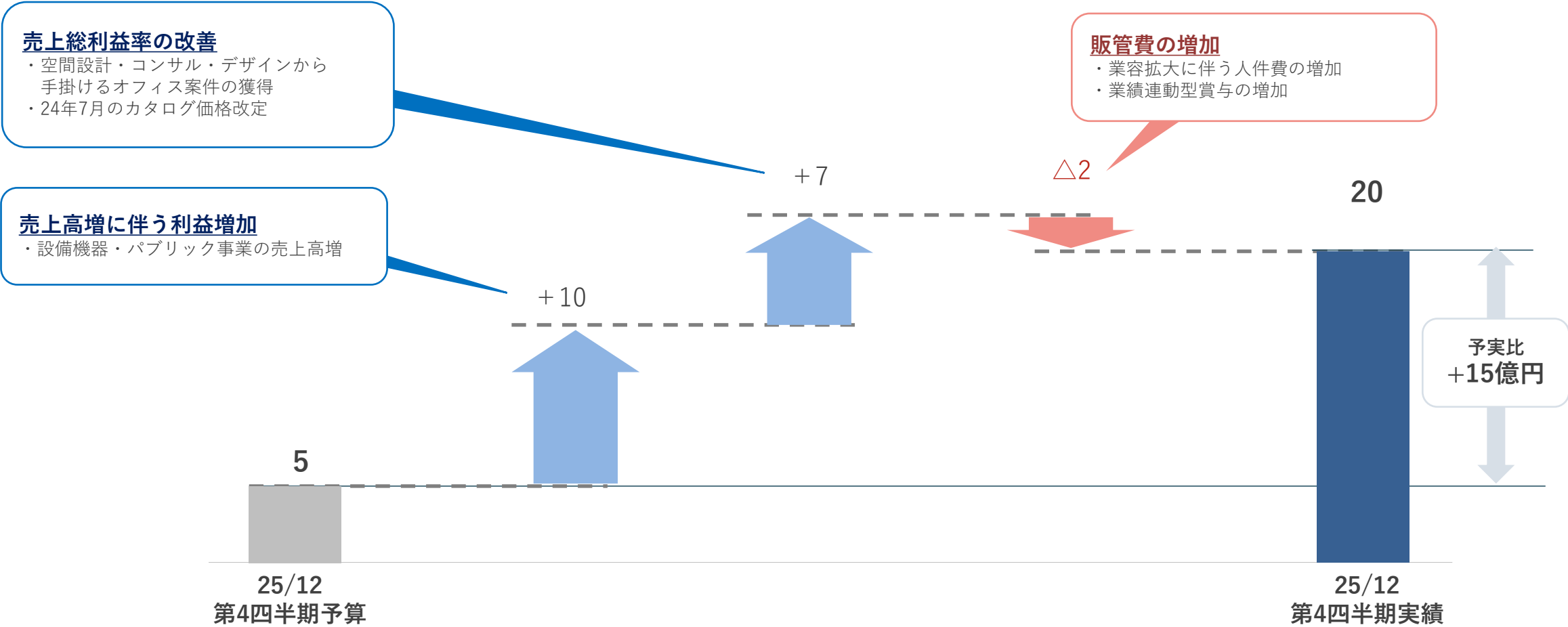
A modern office interior featuring wooden tables, chairs, and a staircase. The space is bright and airy, with large windows and indoor plants. The word "appendix" is centered in the middle of the image.

# appendix



設備機器・パブリック事業における売上高予算の過達、  
ワークプレイス事業における売上総利益率良化により予算を上回る

（単位：億円）



## 首都圏から地方都市への広がり

事例：株式会社HBA様（本社：北海道札幌市）

北海道らしさを取り入れ、DX人材の採用・定着を支える働く場を共創



地方拠点のリニューアル：ITOKI DESIGN HOUSE SENDAI

「地方都市のこれからの働き方」を発信、体験価値を提供

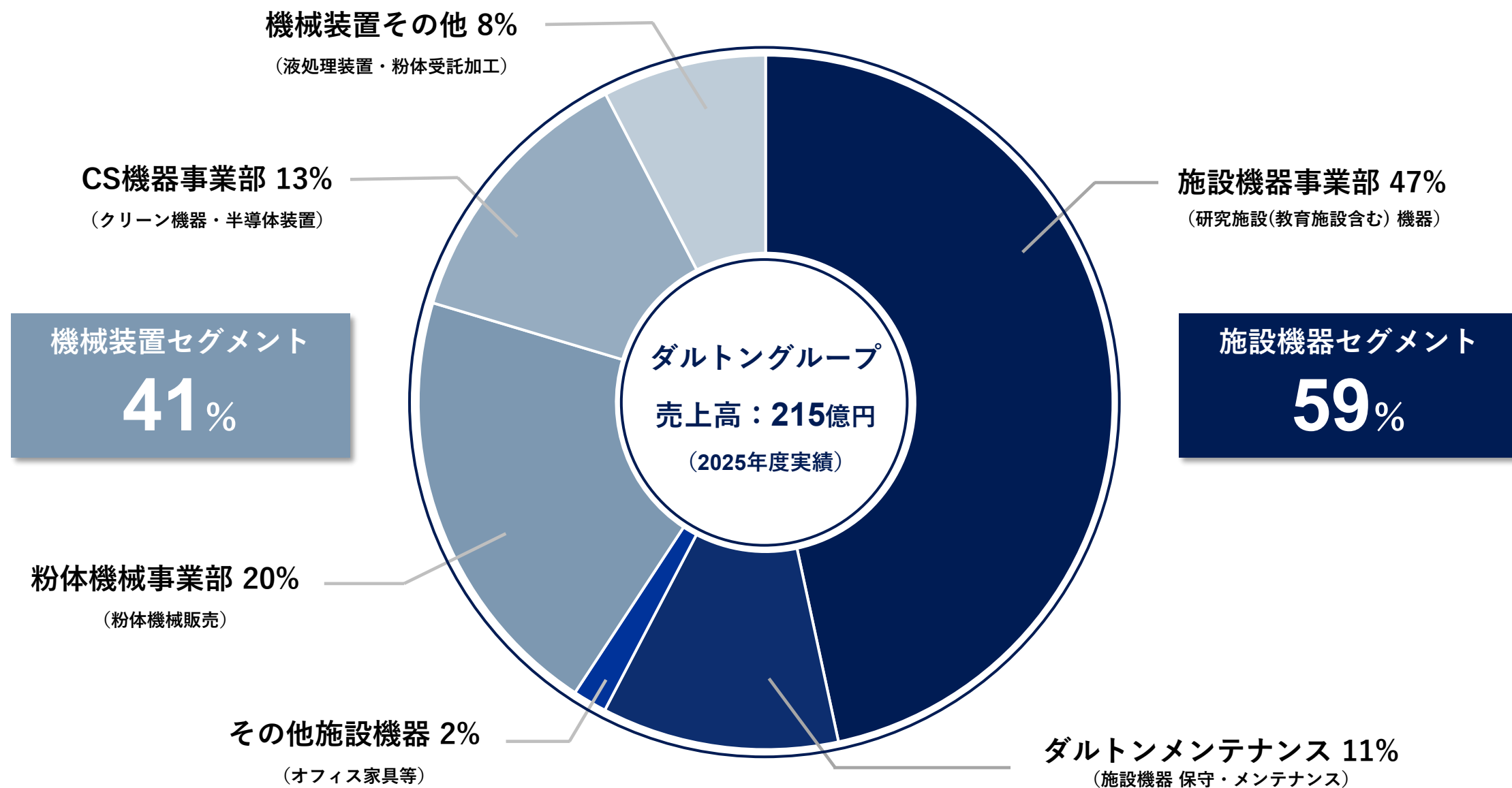


## 工場・研究所への展開

工場のリニューアル：ITOKI DESIGN HOUSE SHIGA

近江八幡市にある滋賀工場内のチェア工場オフィスを全面改修







# 設備機器・パブリック事業：ダルトンにおける直近の納入事例



大阪ガス株式会社  
Daigas Innovation Center



国立研究開発法人 理化学研究所  
和光地区



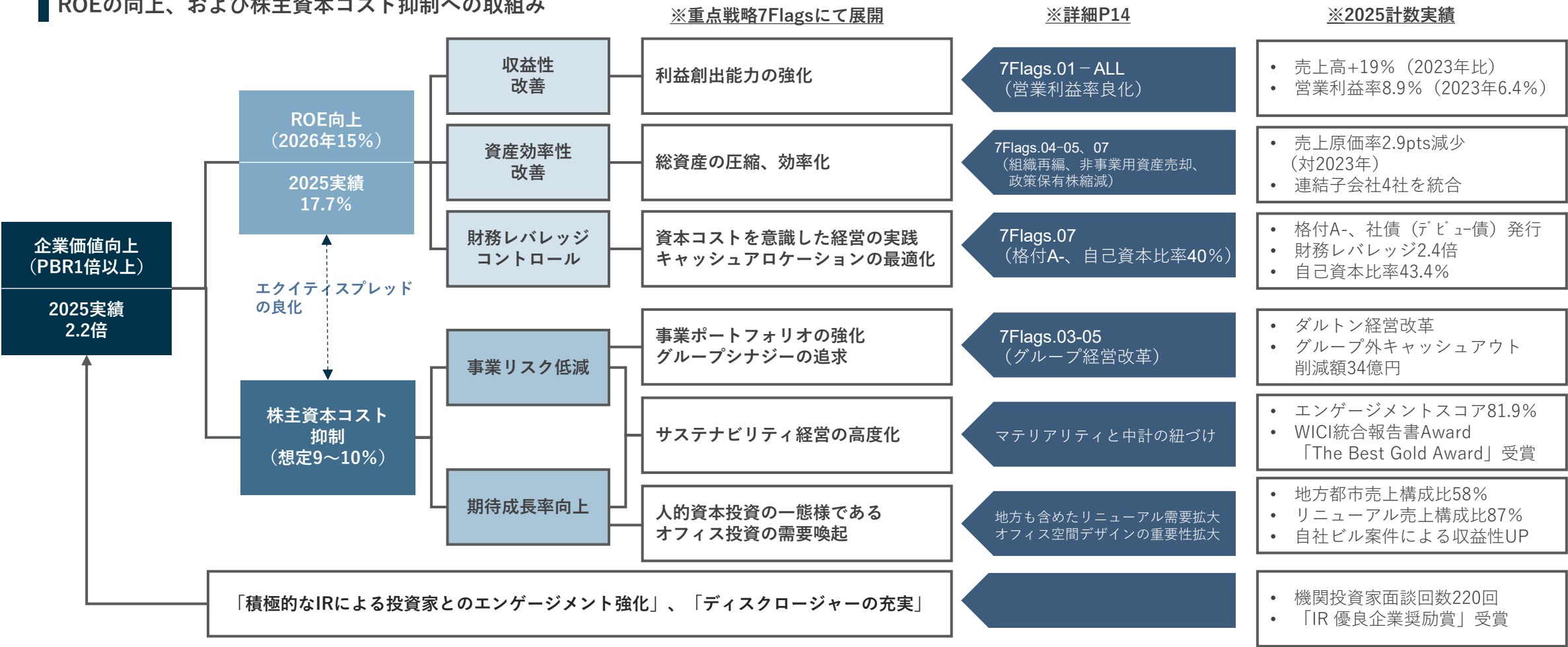
順天堂大学  
浦安・日の出キャンパス 薬学部 研究棟



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（1）

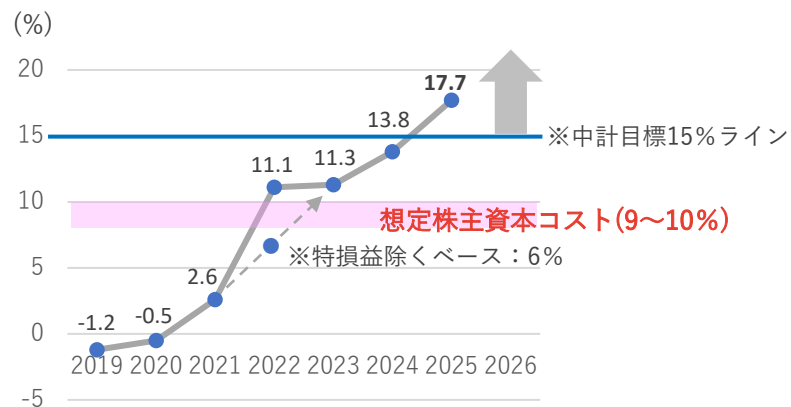
- ・株主資本コストは、CAPM（資本資産価格モデル）だけではなく、投資家目線として株式益回りに基づいた値も算出（想定株主資本コスト9～10％）
- ・中計ROE15％目標に対して、実績17.7％と大幅達成（ $ROE17.7\% = \text{売上高当期純利益率}6.12\% \times \text{総資産回転率}1.18\text{倍} \times \text{財務レバレッジ}2.41\text{倍}$ ）
- ・PBRも大きく良化（ $PBR2.2\text{倍} = ROE17.7\% \times PER\text{約}14\text{倍}$ ）

## ROEの向上、および株主資本コスト抑制への取組み

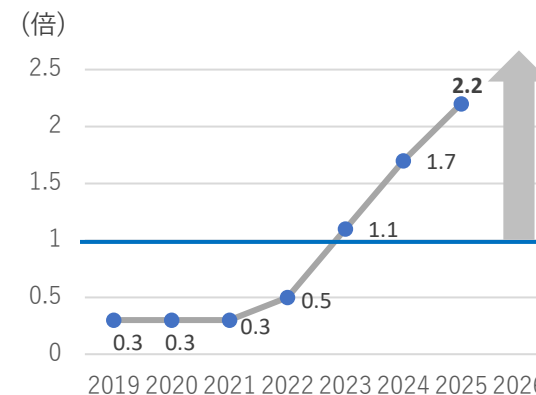


# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（2）

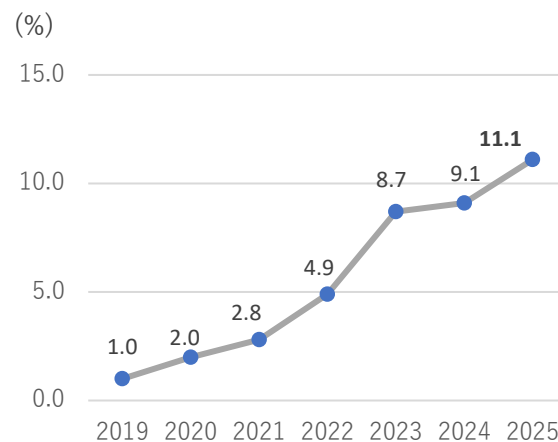
## ROEの推移



## PBRの推移

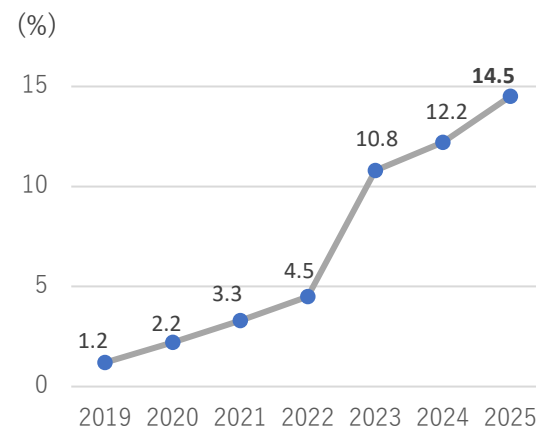


## ROICの推移



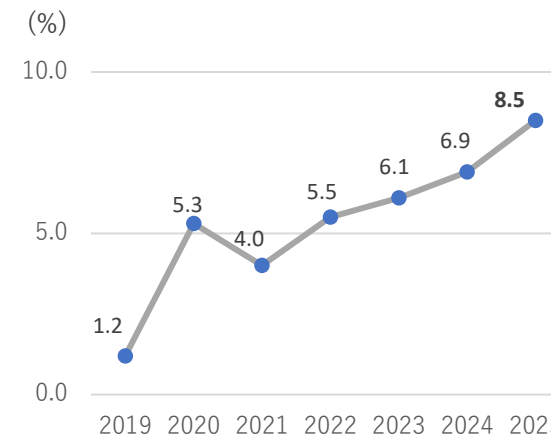
## 事業別ROA（ワークプレイス事業）

※セグメント利益/セグメント資産



## 事業別ROA（設備機器・パブリック事業）

※セグメント利益/セグメント資産





格付の維持  
(格付：A－)

- ・ 2025年12月8日付で株式会社格付投資情報センターより取得している発行体格付を維持
- ・ 第三者機関から客観的な評価を取得することにより、経営の透明性と対外的な信用力を高めるとともに、資金調達の多様化や安定性を図る

社債発行

- ・ 将来の成長へ向けて資金需要が増えることを想定し、直接金融での資金調達を開始し、資金調達の多様化を進めるため社債を発行

< 社債情報 >

銘柄	発行年月日	償却期限	年限	利率	発行総額	発行残高
第1回無担保社債	2025年12月4日	2030年12月4日	5年	1.791%	50億円	50億円

## 従業員に対する有効な人的資本投資の一環として 従業員向け譲渡制限付株式報酬制度を導入

### 制度概要

- ・ 2025年11月20日開催の取締役会において、当社従業員向けに譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議
- ・ 社内の人事評価および表彰制度での優績者など所定の要件を満たす従業員を対象に当社株式を付与することで、当社の経営への参画意識をより醸成するとともに、企業価値の持続的な向上の実現に向けた主体的な行動を促すことを目的とする
- ・ 株式総数は、年最大10万株となる見込み

AIを経営の中核に据え、デジタルテクノロジーとデータの活用により、  
新たな価値を創造することにより「明日の『働く』を、デザインする。」を進化・推進する

## ① データビジネス



社会・顧客の体験価値向上と  
新規ビジネスの創出

- データを活用した働き方改革コンサルティングの強化
- ファシリティ運用効率のためのAIを活用したリソース予約システムの展開
- メタバース技術、グループワークのAI分析等を活用した「ITOKI Smart Campus」※の実現

## ② 業務効率化



業務プロセスの効率化と  
従業員の体験価値向上

- クラウドやモバイルインフラ等の最新デジタル技術を活用したABW(Activity Based Working)の実践
- 各現場でのDX・AXによる情報共有と業務効率化
- Cloud ERP による業務とデータの基盤づくり  
(リアルタイムにデータを可視化、業務プロセス・ルールの見直しとコンプライアンス強化)

## ③ 経営高度化



データ・AIを活用したリアルタイムの  
経営管理と意思決定

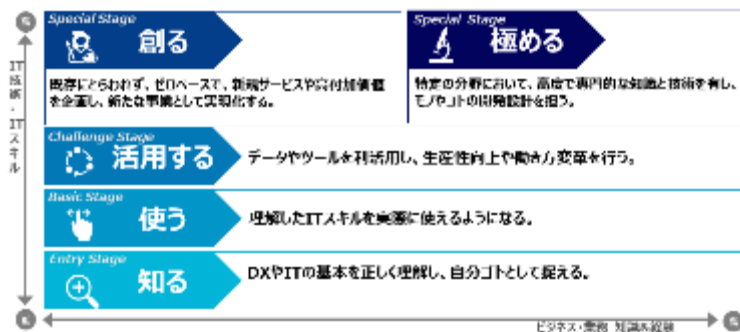
- 財務と業務のKPIをデータから抽出したインサイトに紐付け、戦略立案から実行まで活用できるデータ基盤を構築
- AIを活用し、経営・本部・部門のそれぞれのレベルにおけるリアルタイムな意思決定へのサポートを提供

## ④ DX・AX人材とAI人材の育成・確保



専門人材育成と風土醸成

- デジタル技術・データを自分事として捉え、データやツールを利活用し、業務改善による生産性向上や新たな価値創造ができるDX・AX専門人材の育成
- DX・AI人材とAX人材育成の5つのステージを定義し、自分のペースでステップアップ可能な仕組みを整備、風土を醸成



## ⑤ DX・AI基盤の整備・強化



データ・システム基盤の整備と  
情報セキュリティ対策の強化

- デジタル技術・データ・AIの活用に向けた段階的なシステム基盤の整備
- 社長を委員長とする「リスク管理委員会」を軸に、グループ全体のITガバナンスを強化



## WICI ジャパン 統合レポート・アワード2025において 「Gold Award（優秀企業賞）」、 さらに、「The Best Gold Award」を初受賞

当社の発行する「統合報告書 2025」は、「統合報告書としての完成度が極めて高く、他の企業の統合報告の模範となる統合レポートであり、かつ統合的思考で経営が実践され、中長期の価値創造力が各ステークホルダーとの関係で分かりやすく示されており、今後も企業価値を高めていくことに期待が持てる企業」であり、さらに「最終審査において多くの審査委員から非常に高い評価を得て、一頭地を抜いた存在を示したことを称え、Gold Award のなかでも『The Best Gold Award』とする」として、大変高い評価を得ました。



[統合報告書2025](#)

## 人的資本経営の実践について、日本経済新聞に企業広告を掲載

2023年より従業員のストーリーを起点とした企業広告企画を継続しており、本取り組みは今年で3年目となります。今年掲載した広告のテーマは「想い、重なる」。従業員一人ひとりの働き方だけでなく、“仲間との関係性”を通して当社の人的資本の価値を可視化しました。



【掲載日：2025年12月8日(月)～12月12日(金)】

## 「ウッドデザイン賞2025」の林野庁長官賞を受賞



受賞作品名：クロッサWOOD

## 本社オフィスが世界トップレベル 「Leesman(R)+ Excellent」を2年連続で獲得し 世界39位を記録



「世界122か国、9,000拠点以上を対象とする国際指標の中でも、認定拠点は全世界で23社54拠点に限られています（2025年11月現在）。ITOKI DESIGN HOUSE TOKYOは、特に「現在のオフィスでは生産性の高い仕事ができる」という調査項目で、昨年をさらに上回るスコアとなる80.0%を記録し、グローバルベンチマークとの比較でも高い評価を獲得しました。

## 「PRIDE指標2025」において「レインボー認定」を2年連続受賞 最高評価「ゴールド」を3年連続受賞



職場におけるLGBTQ+などの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標、「PRIDE指標」において最高評価「ゴールド」を受賞しました。さらに、PRIDE指標「ゴールド」を受賞した企業の中から、国や自治体などとのセクターを超えた協働を推進する企業に与えられる「レインボー認定」も2年連続での受賞となりました。

## 「D&I AWARD 2025」にて 最高ランク「ベストワークプレイス」に4年連続認定



株式会社JobRainbowが主催する、ダイバーシティ＆インクルージョンに取り組む企業を認定する日本最大のアワード「D&I AWARD 2025」において、最高評価の「ベストワークプレイス」に認定されました。4年連続の認定となります。

## キューピーの卵殻をアップサイクルした天板素材を製作

キューピー株式会社が進めるサステナブルな取り組みの一環として、食品製造過程で発生する卵殻をアップサイクルした天板素材を共同で製作しました。

今回製作した天板素材を使用した家具は、キューピーの「グループ研究開発・オフィス複合施設」である「仙川キューポート（東京都調布市）」に納入しています。



## 農林水産省と「建築物木材利用促進協定」を締結

本協定により、オフィス空間や内装・家具をはじめとする設計・建築物において、国産材の利用拡大と、持続可能な森林資源の循環利用を推進していきます。



イトーキ本社で開かれた協定締結お披露目式。  
右から、農林水産副大臣・根本 幸典氏、  
イトーキ代表取締役社長・湊 宏司



＜注意事項＞

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞  
株式会社イトーキ  
コーポレートコミュニケーション本部  
IR・SR部 IR課

電話:03-6910-3910  
E-mail:itk-ir@itoki.jp  
<https://www.itoki.jp/company/ir/>

明日の「働く」を、**デザインする。**